

経営比較分析表（令和2年度決算）

神奈川県藤沢市 湘南台駅地下自動車駐車場

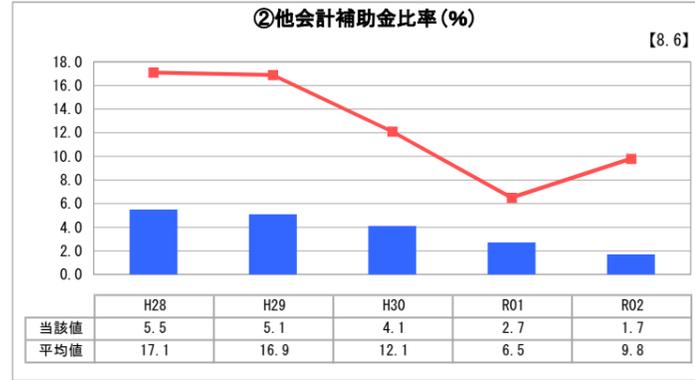
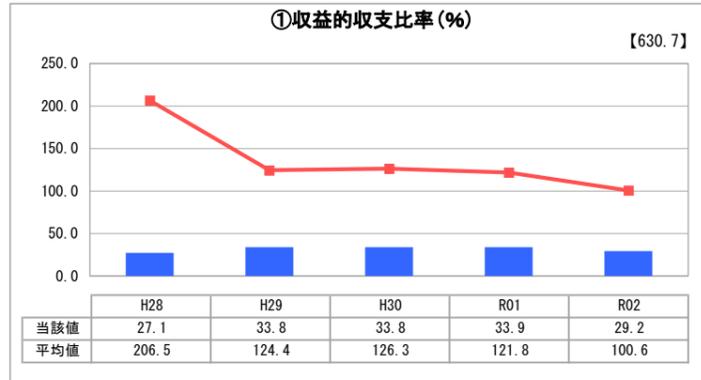
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	地下式	21	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	有	5,891
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
189	300	無

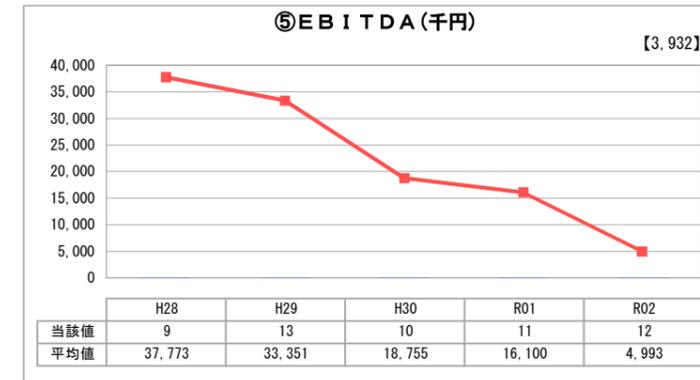
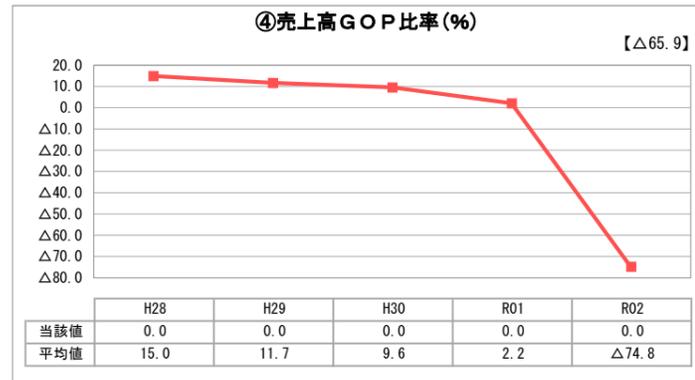
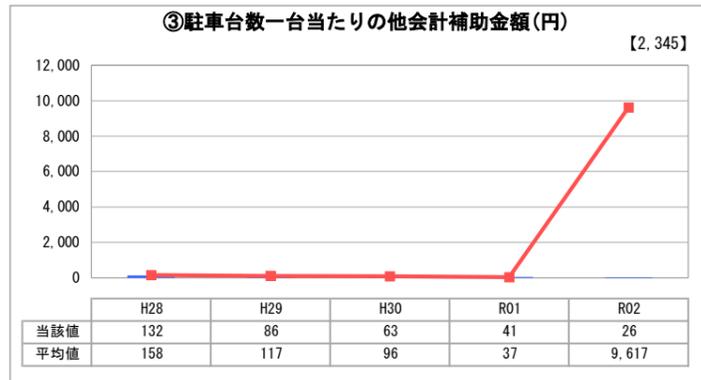
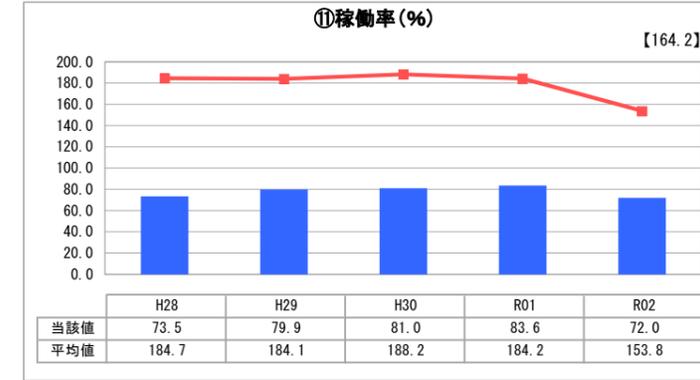
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

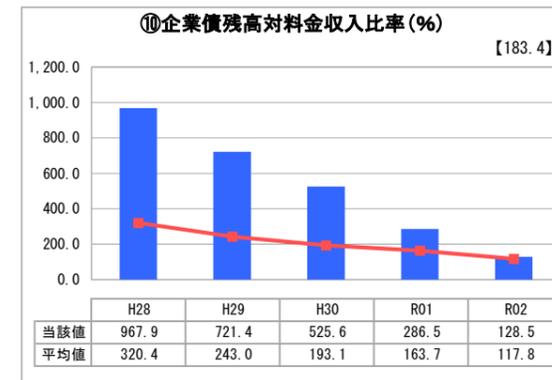
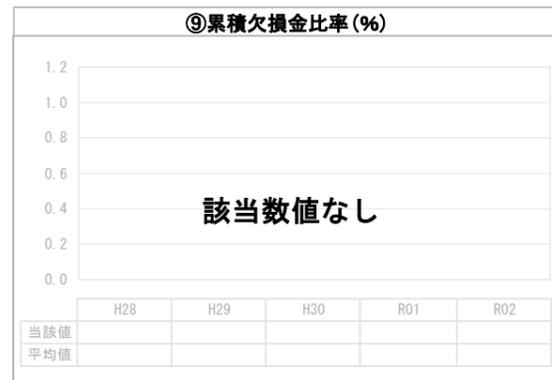


⑦敷地の地価(千円)

9,387,920

⑧設備投資見込額(千円)

19,700



分析欄

1. 収益等の状況について
 収益的収支比率は、建設償還金の支払いが続いていることから、100%未満の数値が続いております。
 他会計補助金比率と駐車台数一台当たりの他会計補助金額は、建設償還金の減少に伴い、減少傾向にあります。
 売上高GOP比率とEBITDAは、低い数値であり、収支均衡の状況が続いていることを示しております。

2. 資産等の状況について
 設備投資見込額は、年間200万円の修繕費を見込み算出しましたが、当該施設は供用開始から約20年経過しているため、大規模修繕などの検討を要すると考えられます。
 企業債残高対料金収入比率は、償還金の支払いの完了が近づいているため、減少傾向にあります。

3. 利用の状況について
 稼働率は、微増の傾向が続いており、需要が増えてきていましたが、令和2年度の減少については新型コロナウイルス感染症蔓延の影響によるものと考えております。

全体総括
 総じて、建設償還金を考慮しなければ、収支均衡の経営状況であり、需要も増えている傾向にあることから、引き続き駐車場運営を続けることが妥当であると考えています。
 なお、令和4年度からは指定管理者制度を導入し、収入と経費の両面で民間企業によるノウハウを活用して、さらなる効率的な経営を図ってまいります。